



## 横浜美術館 2016 年度企画展スケジュールが決定

2016 年度、横浜美術館では 4 つの企画展を開催します。企業が所蔵する版画作品コレクションと横浜美術館の所蔵作品による展覧会、印象派のアメリカ人女性画家の大回顧展、身体表現がもつ意味を探る現代美術展、そして著名な写真家 篠山紀信の個展と、バラエティーに富んだ内容での開催です。是非多くの方に様々な美術をお楽しみいただきたく、広く報道いただければ幸いです。

### ■「複製技術時代」の美術作品展（仮題） 2016 年 4 月 23 日（土）— 6 月 5 日（日）

富士ゼロックス株式会社が所蔵する版画コレクションから西洋と日本の近現代版画作品 200 点と、横浜美術館所蔵の絵画、彫刻、写真等約 100 点を合わせて展示し、19 世紀末から 20 世紀にかけての美術家たちが、版画や印刷、電子複写などの複製技術をいかなる芸術的意図のもとに用いたかを考察します。富士ゼロックス、横浜美術館双方に共通する作家を中心に、「版画家」と「画家」という分類ではなく、同一作家が絵画や彫刻と並行して複製技術を意識的に用いた事実をクローズアップします。

### ■メアリー・カサット展 2016 年 6 月 25 日（土）— 9 月 11 日（日）

19 世紀後半のパリで活躍したアメリカ出身の印象派の画家、メアリー・カサット(1844-1926) は、エドガー・ドガに才能を見い出され、身近な人々や家庭の情景を主題に独自の画風を確立しました。女性画家のパイオニア、また「母子像の画家」として世界的に高い評価を得ている一方、日本国内では、画業の全貌はあまり知られていません。本展覧会では、油彩、パステル、版画などを厳選し、日本美術からの影響についてもひも解きながら、初期から晩年にいたるまでの画業を約 100 点で紹介します。

### ■BODY / PLAY / POLITICS（仮題） 2016 年 10 月 1 日（土）— 12 月 14 日（水）

本展は、日本および各国での 2000 年以降の映像・写真・インスタレーションなどにおいて、「演じること」と「ドキュメンタリー」の中間、あるいは、現実とフィクションとの狭間、実体あるものと幽霊的なものの間に置かれた象徴的身体を扱った作品を紹介し、身体が作り出す記号的意味が、いかに変容したかという観点から、約 10 作家の作品を通じて、身体表現の政治性について読み解こうと試みます。

### ■「篠山紀信展 写真力」 2017 年 1 月上旬 — 2 月下旬

写真家・篠山紀信が、半世紀にわたり撮りつづけた著名人などの人物写真を、「GOD（鬼籍に入られた人々）」「STAR（すべての人々に知られる有名人）」「SPECTACLE（私たちが異次元に連れ出す夢の世界）」「BODY（裸の肉体美とエロスとの闘い）」「ACCIDENTS（東日本大震災で被災された人々の肖像）」という、5 つのセクションで構成する展覧会です。作家自身の選作により、8メートルを超える作品を含め、写真展の常識を塗り替えるようなスケールで紹介します。

※上記は 2015 年 9 月 18 日時点の予定です。今後変更が生じる場合もございますこと、予めご了承ください。

|                                   |          |               |                  |
|-----------------------------------|----------|---------------|------------------|
| <b>お問合せ先</b> *本日は 17 時まで在席しております。 |          |               |                  |
| <b>横浜美術館</b> 【公益財団法人横浜市芸術文化振興財団】  |          |               |                  |
| 経営管理グループ                          | 広報渉外チーム  | 担当グループ長 西澤 洋  | Tel 045-221-0319 |
| 経営管理グループ                          | 広報・渉外チーム | 広報担当 宮野、藤井、窪田 | Tel 045-221-0319 |